

分別収集について

1. ごみの分別の状況（H21 年度実績）

環境省「日本の廃棄物処理」21 年度版

分別数	分別 なし	2 種類	3 種類	4 種類	5 種類	6 種類	7 種類	8 種類	9 種類	10 種類	11~15 種類	16~20 種類	21~25 種類	26 種 類以上
市町村数	0	5	11	26	63	61	91	105	117	122	682	360	90	17
1 人 1 日当たり 排出量	0	734	1318	978	987	1041	904	887	908	876	881	876	861	806

※1 人 1 日当たり排出量は各市町村の 1 人 1 日当たり排出量の単純平均値

東京都 23 区は 1 市とし、分別数の最も多い種類で集計

2. 分別収集のメリット・デメリット

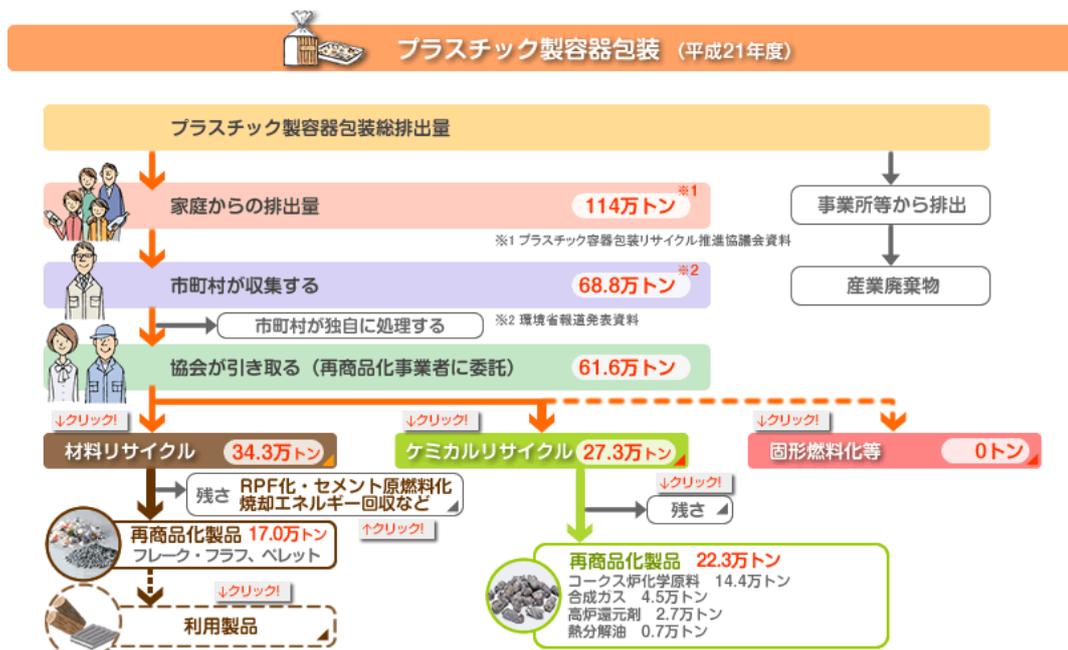
①メリット

- ・ごみの減量
- ・リサイクル意識の向上
- ・手選別作業の負荷低減
- ・資源物の純度が高まる
- ・資源物回収量の把握がしやすい

②デメリット

- ・家庭内分別、ごみ出しの手間の増加
- ・不法投棄（不適正排出）の増加
- ・処理コストの増加

3. その他プラスチックの分別収集



○その他プラの状況

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
搬入量	486.32	516.78	514.50	531.08	522.49	523.99%
再生原材料	411.50	418.37	440.69	445.11	431.29	433.89%
再生率	84.6%	81.1%	85.7%	83.8%	82.5%	82.8%